

講義科目名称： 哲学

授業コード： 2210100300

英文科目名称： Philosophy

| | | | |
|--------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 後期 | 1学年 | 2単位 | 選択必修 |
| 担当教員 | | | |
| ◎稲葉景 | | | |
| 添付ファイル | | | |

| | |
|------|---|
| 授業種類 | <p>【開講】 後期</p> <p>【授業時間】 30時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎稲葉 景</p> <p>【研究室】 清泉女学院大学</p> <p>【本学の科目区分】 教養科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎</p> |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 到達目標 | 毎回提示されるテーマについて、哲学者の思想を学ぶ。また、グループで議論しながら、自分の考えを自分のことばで伝えること、さまざまな考え方が存在することを知ることができるようになる。 |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 授業概要 | 哲学とは何か、現代までの哲学者が残した思想の営みが現代に生きる我われにどのような哲学的思考の示唆を与えてくれるかを考えていく。古代から現代までの哲学者の思想が、それぞれどのように結び合わされているかを理解すること、日常の「当たり前」を改めて哲学的に思考することで論理的思考を会得することを目指す。 |
|------|--|

| | |
|------|---|
| 授業計画 | <p>1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：人間が「考える」ということ 学習内容：そもそも「哲学」とは何かを考える 備考：</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：世界は何からできているのか 学習内容：フォアゾクラティカーの思想を学ぶ 備考：</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：哲学とは 学習内容：ソクラテスの思想を学ぶ 備考：</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：本質はどこに？ 学習内容：プラトンとアリストテレスの思想を学ぶ 備考：</p> <p>5 授業内容 授業形態：対面 学習課題：悪と罪とは 学習内容：アウグスティヌスの思想を学ぶ 備考：</p> <p>6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：善悪とは 学習内容：トマス・アキナスの思想を学ぶ 備考：</p> <p>7 授業内容 授業形態：対面 学習課題：私とは 学習内容：デカルトの思想を学ぶ 備考：</p> <p>8 授業内容 授業形態：対面 学習課題：時間とは</p> |
|------|---|

| | |
|-----------------|---|
| | <p>9 学習内容：マルティン・ハイデガーの思想を学ぶ 備考： 授業内容 授業形態：対面 学習課題：死とは 学習内容：ウラジミール・ジャンケレビッチの思想を学ぶ 備考：</p> <p>10 授業内容 授業形態：対面 学習課題：幸福とは 学習内容：ラッセルの思想を学ぶ 備考：</p> <p>11 授業内容 授業形態：対面 学習課題：普通とは 学習内容：ミシェル・フーコーの思想を学ぶ 備考：</p> <p>12 授業内容 授業形態：対面 学習課題：いのちとは① 学習内容：生命倫理（出生前診断）を学び、GWでいのちの意味を考える 備考：</p> <p>13 授業内容 授業形態：対面 学習課題：いのちとは② 学習内容：生命倫理（臓器移植）を学び、GWでいのちの意味を考える 備考：</p> <p>14 授業内容 授業形態：対面 学習課題：自己の生きかたとは 学習内容：オルテガ・イ・ガセットの思想を学ぶ 備考：</p> <p>15 授業内容 授業形態：対面 学習課題：まとめ 学習内容：哲学の学びから何を学ぶのかを今までの学びからまとめる 備考：</p> |
| 事前・事後学習 | 事前に授業内容にかかわる課題を行ない、テーマについて事前学習を行う。事後は、毎回授業で学んだ内容についてまとめ、次回の授業までに疑問をまとめ、リアクションペーパーを書いて、教員に提出する。また、教員より提示された参考文献や映像等を確認することで更なる学習を求める。 |
| 評価方法、評価基準 | 毎回の授業への積極的な参加度・リアクションペーパー45%、レポート55% ※リアクションペーパーはきちんと授業内容を把握したうえで、自分の意見や疑問点など書いているかどうかで評価する（3段階評価）。レポートは授業内で配布する「レポートの書きかた」に基づいて、①自分なりに課題を設定し、②課題の内容を十分に理解し、③自分の考えを明確に示すことができているかどうかで評価する。 |
| 必携図書 | 授業内で適宜提示する。 |
| 参考図書・資料等 | ウィル・バッキング著／小須田健訳『哲学大図鑑』三省堂、岡山敬二『わからなさ生きる哲学』、永井均『こどものための哲学』、オルテガ・イ・ガセット『大衆の反逆』等、適宜参考文献などを紹介し、必要に応じてプリントなどを配布する。 |
| 受講、課題、資料配布等のルール | 授業に集中するため、スマートフォン・ネット使用の禁止、課題の提出期限を厳守すること。始業時間から20分以上遅れた場合を遅刻とし、遅刻2回で1回の欠席とみなす。レポートの提出期限は、遅れた場合、原則受け取らない。 |
| 教員からのメッセージ | 一つのテーマでもさまざまな意見があることを経験するために、授業のなかではなるべく哲学的対話を含めたグループワークも行いたいと思います。一人ひとりがテーマについて自分で考え、わからないことを質問したり、自分の言葉で自分の意見を発言したりすることが求められますので、積極的に参加してください。どうぞよろしく願っています。 |
| オフィスアワー | |